永平寺町の観光に関する意見交換会（永平寺町 DMO 会議）

会議録

日　時　令和８年３月３０日（月）
１３：３０～

１．永平寺町観光地経営戦略に関する報告（町商工観光課）
町観光地経営戦略の策定に関する報告

２．観光 DMO の申請・登録に向けて（まちづくり㈱ZEN コネクト）
永平寺町 DMO 観光地経営戦略の策定（計画改定）と DMO 登録に関する報告

３．意見交換
各団体の実施報告、今後の事業計画等に関する情報交換及び意見交換

【商工会】
R8 にむけて、各事業所の体力を高めていく。県内外での物販展などにおいては、多くの来場者をおもてなしできるようにしていく。

【SHOJIN 協議会】
認定を受けた事業所の集まりということで、おもてなしができる商品を提供している。販路拡大では、観光物産協会の方でやっていたが、解散したため、ZEN コネクトのほうへ販路拡大を依頼している。道の駅でも販売をしているが、町外、県外に向けて販路拡大をしていく。
商品もブラッシュアップしてやっていく。

【中部漁協】
経済効果。1河川当たり13億円の経済効果がある。九頭竜川のあゆの魅力が大切。何が求められているか。激流の中で釣れる鮎は大きくてひきの強い魅力ある鮎釣りとなる。
数は釣れるが小さい。河川道の整備。釣りのところまで車を止められる。安心して車を止めて魚釣りができる。九頭竜川で鮎釣りをする魅力のひとつ。
6月から9月まで各メーカーの全国大会を開催できた。

【かわまち協議会】
世界大会ができる場所かどうかを検証。十分可能。検証の際に、永平寺によりたい→絵葉書がほしいといわれたがものがなかった。

【浄法寺山岳観光協会】
観光資源のひとつ。閉鎖中ではあるが、よい結果が出たら前に進んでいきたい。
登山道の整備をしていく。

【永平寺町観光ボランティアガイドの会】
英語でガイドを開催。今年も実施していく。中だけでなく、外向けに情報発信をしていく。
永平寺以外の隠れたコンテンツがたくさんある。
まちあるきガイドを作成中。

【輝峰】
昨年、文化庁の補助金で永平寺案内人制度をつくった。初年度45名→約60名ほど。560件。4000名近く案内をした。
映像制作をしている。8年度分もふくめて8本。利用したいというかたはぜひ声をかけてほしい。

【柏樹關】
2019年にオープン。運営は藤田観光。オーナーは大本山永平寺。
2024年度からは海外のゲストに多く利用していただいている。全体の18%、2025年度は38%
翌日、金沢、関西へ行くことが多い。バスの時間

【森塚さん(女性グループ)】
事業承継を考えている。何かあれば声をかけてほしい。

【野彩工房】
体験型コンテンツの造成。郷土料理を若い人に伝えていく機会が減っている
体験していただくことがとても大切だと思う。
カヤック、鮎釣り大会が永平寺町であると道の駅が近くにあるので、活用して拠点にするとよいと思う。もちつき大会も盛況でよかった。

【愛菜グループ】
もちをつくっている。楽しく作っている。

【油桐寿司の会】
永平寺町の中にいろんなグループがあって、地域の中でにぎわうためにはと考えている人がたくさんいる。近隣市町のことなども知りたいので、声をかけてほしい。
商品のブラッシュアップを考えていきたい。

たまねぎをつくっている。今年から、販路拡大をやるには自分の商品に自信を持ちたい。
いろんなイベントに声をかけてほしい。参加したい。
郷土料理への補助金

【つむろや旅館】
お客様に満足していただける。永平寺町にまた来たいと思ってもらえるようにしたい。思ったことを口にしようと思う。
つむろや旅館は何もないが、人が来てくれるところ。県外から人が来てくれる。人と人とをつなげることができる。

【ふくいヒトモノデザイン】
町内でがんばっている同級生がいる。2030年の成人式で、20歳の人が希望を持てているとよいと思う。

【黒田さん(農家代表)】
関東にいちほまれを売りに行っている。相方は県と一緒。永平寺町のいちほまれとして売っている。いちほまれは100ヘクタールまできた。
農家としては、永平寺町のブランドにしたい。農家が販売や仕入れをするということができるとよい。
道の駅で永平寺町産のいちほまれを売りたいが今はできない。

【JA 福井県農協】
合併して7年目。合併前は米が安かった。れんげ米は栽培に重労働であった。
いちほまれの面積拡大をお願いするようになり、お米そのものは R6,R7 は農家はつくってよかった、消費者は安いお米を望む
地域振興作物。とうもろこし、たまねぎ
新規就農も増えている。

【松岡交通】
安心、安全にお客様をお送りする。ドライバーの高齢化もあり、町内を案内するところまではできていない。

【えちぜん鉄道】
お客様を増やすための取り組みをしている。国内外から誘客をして、お金を落としていただく。地域でお金を作る仕組みを作るために連携していきたい。
2026年の取り組み。地元酒蔵とともに地酒列車を実施しているが、日程調整が難しい。
蔵元がいなくてもよい免許を取った。

日本旅行と一緒に、インバウンド向けのメニューを作っている。永平寺、地酒列車、恐竜博物館。
※観光2次交通について。住民の足、観光の足のハイブリッド型をすすめる。
【永平寺門前観光協会】
除夜の鐘、雪だるま de お出迎え、作務衣、花祭り、ロハスを開催。
観光案内所を活用していろいろなことをやっていきたい。

【永平寺町】
観光賑わい創出事業　30万円
中部縦貫自動車道スタートアップ事業　500万円
十二曲がり保存会が発足する
6月補正予算にて、ガイドの人材育成について要求する

【ZEN コネクト】
R5～R7 の町内観光数値について、FTAS と町統計データにより集計。(結果報告)

指標項目		2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年
●観光消費額 (百万円)	目標	4, 500	5, 000	4, 700
	実績	4, 040	5, 320	4, 343
●延べ宿泊者数 (人)	目標	15, 000	15, 500	16, 000
	実績	18, 568	19, 994	17, 030
●来訪者満足度 (%)	目標	90. 0%	90. 0%	90. 0%
	実績	88. 9	92. 8	91.4
●リピーター率 (%)	目標	50. 0%	50. 0%	50. 0%
	実績	46. 2	42. 0	43.3